



やまなみ

山形市立大曽根小学校
学校だより
令和4年11月24日
校長
No.10 太田 千春

敬老・学習発表会が終わる

11月5日（土）、学習発表会が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、前・後半2部制として参観人数を分散させ、スタンプラリー形式での開催としました。また、今年度も、敬老芋煮会を実施することができませんでしたので、祖父母の皆様もお招きし、頑張って育てた里芋とお手紙をプレゼントして日頃の感謝の気持ちを伝えました。各学年とも、各教科や総合的な学習の時間等で学習してきたことを、ICT機器なども活用しながらわかりやすく発表していました。さらに、昨年度から地域学校協働活動の一環として活動を始めた地域民話クラブと大曽根太鼓クラブも、地域指導者の皆様からご指導いただきながら練習してきた成果を存分に発揮し、素晴らしい発表でした。参観する側の児童にとっても、それぞれの発表を思い思いに観て回ることで、楽しい1日となりました。

発表会終了後は、昇降口前で5年生が育てたお米「大曽根元気米」と4年生が作った「あおぞら味噌」の販売会も行われました。コロナ禍において、様々な活動が制限されてまいりましたが、地域・保護者の皆様とふれあう機会を得て、子供たちも普段以上にはりきって活動できていたように思います。感染防止対策にもご配慮いただきながら温かく参観いただきましたことに、心から感謝申し上げます。



大曽根太鼓クラブ



地域民話クラブ



1年生 音読劇「くじらぐも」



2年生 おおぞらのすてきフェスタ



3年生 つたえよう大曽根のコイ



4年生 味噌の魅力 再発見



5年生 私たちの米作り



6年生 敬老芋煮会の歴史

大曽根元気米 ができました！

10月28日（金）、さわやかな秋晴れの下、大木万之助様、庄司一朗様に御協力いただき、脱穀を行いました。収穫できた粳米がつまった米袋の重いこと重いこと。気持ちのよい汗とともに、稔りの秋の喜びを体感することができました。庄司さんから粳すりを行っていただき、精米を終えた「大曽根元気米」はおよそ130kg。自分たちが頑張って育てたお米をおいしく食べてもらいたいと、5年生が販売に向けて袋詰めやラベル貼りなどの準備をしました。



あおぞら味噌 ができました！

10月31日（月）、大曽根小サポート委員の新関徳次郎さんからお越しいただき、4年生が味噌の袋詰めを行いました。7月中旬に仕込みを行ってからおよそ3ヶ月半。味噌樽の蓋を開けると、芳醇な香りがいっぱいに広がりました。出来たての味噌はきれいなオレンジ色で甘味も感じられ、子供たちは大満足の様子でした。できたての味噌は、1kgずつ量り取ってビニール袋に詰め、ラベルを貼って「あおぞら味噌」の完成。販売を心待ちにしている様子でした。



おいしい里芋 ができました！

10月21日（金）、春から大切に育ててきた里芋掘りをしました。残念ながら今年度も地域の方々をお招きしての会食は叶いませんでしたが、6年生が本校の伝統的な行事である敬老芋煮会の歴史を調べ、その意義や受け継いできた思いなどを下学年に伝えることで、本校の伝統をつないでくれました。学習発表会でお渡しした里芋を使って、ご家庭で芋煮にして食べたところ「とってもおいしかった」という声もお寄せいただきました。ありがとうございました。



冬支度

先日、昇降口前の松や、やまなみ園の木々に雪吊りをしていただきました。樹木の幹付近に柱を立て、柱の先端から各枝へと放射状に縄が張られており、りんご吊りといわれる手法だそうです。とても芸術的で、ご覧いただいた地域の方からは「兼六園みたいだ」と言っていました。長い間、大曽根の子供たちを見守ってきてくれた学校のシンボルである松を雪の重みから守る見事な雪吊りです。学校にお越しの際は、どうぞご覧になってください。

